



Panasonic

ビジネス現場伴走型の
データ基盤構築
ソリューション

パナソニック デジタル株式会社

企業価値を高めるには、「分析と意思決定の一体化」によるデータドリブン経営が不可欠。

従来のデータ分析・活用



- ✓ 専門家による分析
- ✓ 限定的なデータ活用

DX時代におけるデータ分析・活用



- ✓ 現場による分析（「事業理解」に基づく「データ分析」）
- ✓ 常時データを活用（「分析」と「意思決定」の一体化）

事業環境の変化を素早く捉え、迅速な意思決定が求められる時代に。

プロアクティブ

将来起り得る
事業リスクへの
対策

どうすれば実現できるのか？

何が起きるのか？

経営・マネジメント・現場の各層における
意思決定の迅速化

拡張・自動化

意思決定

事業変化への
迅速な対応

なぜ起こったのか？

データ
分析

何が起きているのか？

リアクティブ

AJU	1,822	12,349,000
EJK	3,880	238,681,000
HPL	1,062	85,608,000
KEE	485	8,369,000
MAH	8,569	189,201,000
QOP	6,602	102,698,000
TIK	890	24,697,000
WIG	6,280	76,002,000
AHO	2,436	57,610,000

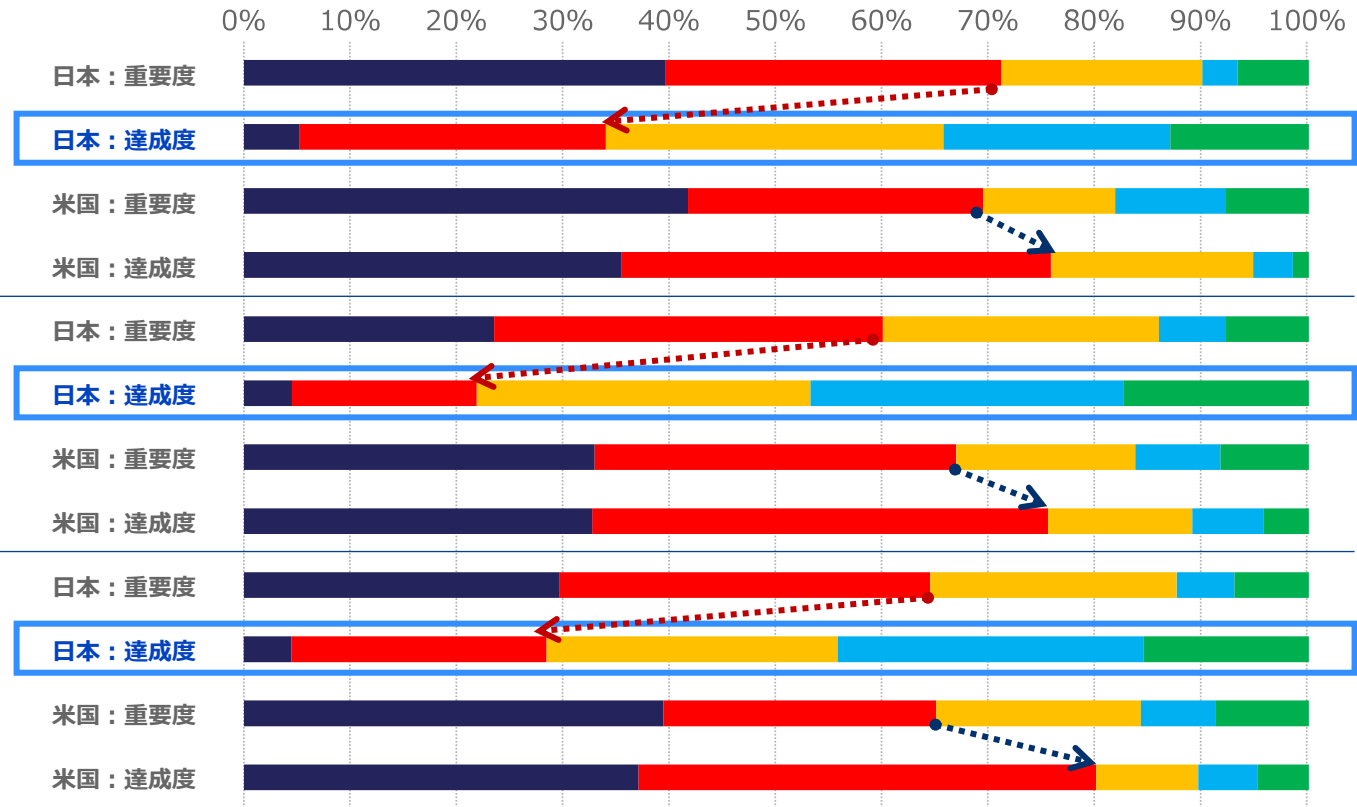
01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18

しかしながら、日本企業の多くはデータ基盤の整備が不十分で、必要な情報をタイムリーに活用できていない。

✓ 必要で適切な情報を
必要なタイミングで取り出せる

✓ 社内外のさまざまなソースから
柔軟にデータ収集・蓄積が
可能である

✓ 部門間で標準化した
データ分析基盤



※出典：IPA「企業価値向上に向けたデジタルガバナンス検討会 デジタルトランスフォーメーションのための企業のデジタル基盤について」

様々な業務システムのデータを一元管理できる データ基盤があれば、こうしたお悩みを解決可能。

業務横断型の データ分析がしたい

全社の課題を見える化したいのに、
データが業務システムごとに
バラバラ...



データの精度・鮮度を 向上させたい

データの精度や出典の確認対応に
追われ、深掘り分析や本質的な
議論は後回し...



データ収集・加工の 属人化から脱却したい

データ収集・加工が手作業で、
時間もかかるうえに
属人化から抜け出せない...



データガバナンスを 強化したい

適切なインフラが整備されておらず、
データ管理の不備やセキュリティリスクが
不安...

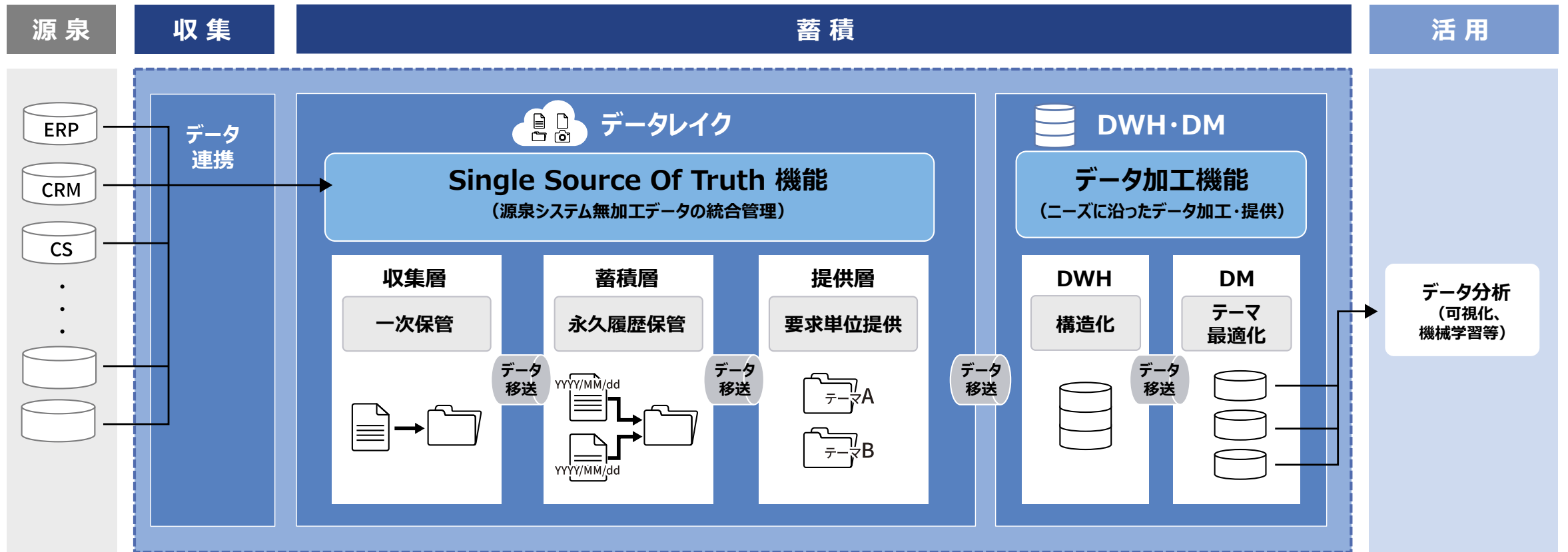


データ活用
時のお悩み

データ基盤構築ソリューションの概要

本データ基盤では、貴社内のさまざまなシステムのデータを収集・蓄積し、一元管理。

必要なデータを誰もが迅速かつ容易に活用できるよう、分析ニーズに応じたデータ加工機能や、大規模データの可視化・分析に適したデータベース環境も搭載。



パナソニックグループのデータ基盤スペシャリストが、
戦略策定から基盤の構築、活用定着化までをワンストップでご支援。

アジャイル・循環型でスパイラルアップ

データ戦略策定・
業務再設計

データ基盤構築
(データ収集／加工／蓄積)

業務試行・定着化
および評価・改善

- ビジネスニーズや事例を元に、データ利活用ケースを整理
- データドリブンな標準業務のデザイン
- データ蓄積のロードマップ策定

✓ データ収集・蓄積基盤の構築

- データレイク・DWH・DM・データカタログなど
- データ基盤の設計・構築方法
- データ、アーキテクチャ・モデリング設計

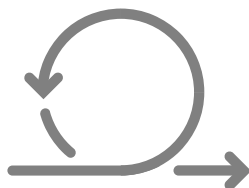
✓ データ活用プラットフォームとの連携

- 業務試行～定着化に向けた評価、改善点の洗い出し

ビジネスの意思決定を支える「正確で鮮度の高いデータ」を 現場のニーズに応じて迅速かつ効率的に提供可能に。

また、クラウド環境を活用することで、開発・運用コストも最適化。

Agility



アジリティが向上。
事業現場が求めるスピードでのデータ
収集・提供が可能に。

Cost



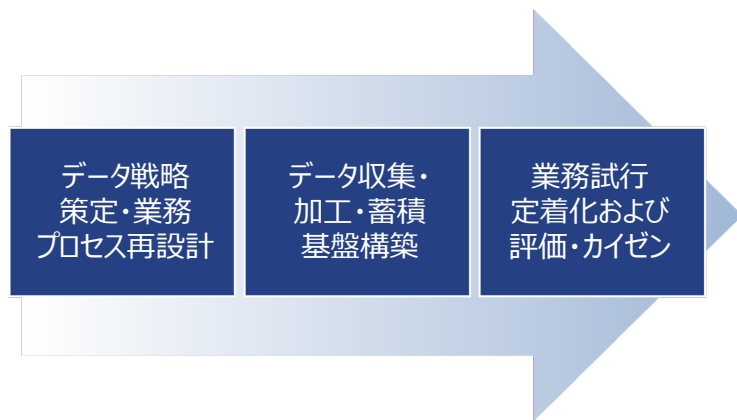
クラウドアーキテクチャによる
データ保管で開発・運用保守コストを
抑えつつ、個別のデータ分析案件に関
わる業務の効率化が可能に。

Data Management



源泉システムのロウデータを管理しつつ、
利活用に最適なDWH・DMを構築。
SSOTの考え方にに基づき、データ品質を
担保した一元管理を実現。

戦略策定・基盤構築・ 定着化まで ワンストップで伴走



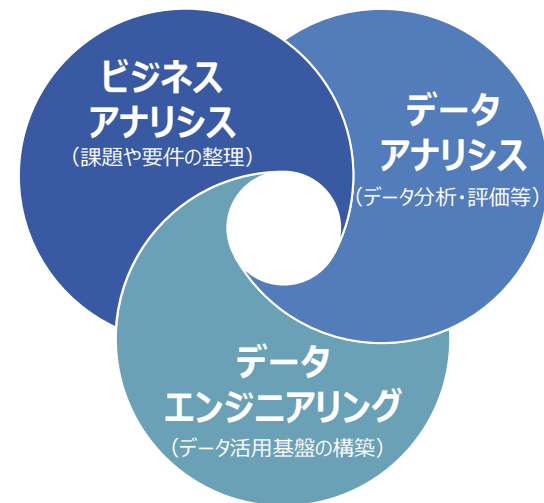
「現場ドリブン」の姿勢でビジネス現場に寄り添い、課題解決をご支援します。業務改革では、課題整理からデータ基盤整備、業務定着までワンストップで対応。拠点単位だけでなく、グループ全体の大規模データ活用プロジェクトもご支援可能です。

パナソニックグループで 培ったノウハウを提供



私たちパナソニック デジタルは、パナソニックグループのIT中核企業として、BtoB/BtoCや経営・製造・販売など多様な領域でデータ活用を支援しています。その多彩な経験とノウハウをご提供可能です。

三位一体の技術力で 課題解決・成果創出を支援



私たちは「IT基盤構築」や「データ分析」だけの専門家ではありません。ビジネスアナリシスで課題を把握し、データアナリシスでインサイトを抽出、データエンジニアリングで基盤を整備する三位一体の技術力で、ビジネス現場の課題に合わせた柔軟なご支援が可能です。

経営管理、顧客管理、製造・品質管理など、
様々な業務領域で分散しがちなデータの一元管理・活用をご支援。



経営情報の可視化 プラットフォーム構築

目的

- 事業部ごとの経営数値データの収集、Excel加工・集計、報告資料作成業務の効率化
- 経営判断の適正化、PDCAサイクルの高速化

ご提供ソリューション

- データ収集・加工自動化の仕組み構築
- 可視化のためのダッシュボード構築（報告資料作成の自動化）

成果

- 経営数値の集計・報告資料作成時間を大幅に削減
- 浮いた時間を分析業務に充てることで、経営判断にかかる時間を短縮化



顧客情報統合・ 営業プロセス改革

目的

- 社内に分散している顧客情報の統合
- アナログ型営業からの脱却

ご提供ソリューション

- アジャイル&現場並走型でデータ活用基盤を検討
- 課題整理、業務整流化、プロトタイプの開発・検証

成果

- 複数システムで管理していた顧客情報を口画面に集約
- 顧客行動を時間軸で可視化し、予測に基づく営業活動の高度化を実現

データ活用の鍵：セルフサービス型データ分析プラットフォーム

DataVein

Do-It-Yourself-Analytics

データ分析プラットフォームの構築 + データアナリストによる分析支援で、データ利活用の現場定着をサポート

➤ 提供価値： ① テクノロジー ② ナレッジ&サポート

Basic分析（リアクティブ）

Advanced分析（プロアクティブ）

記述的

何が起きているか、何故起きたか

予測的

何が起きるか

処方的

何をすべきか

アクション
意思決定

各事業の現場で
データドリブン経営
の加速へ

1

セルフサービス型分析基盤（ツール）

可視化・BIツール 例



統計分析ツール 例



データドリブン基盤 ・ その他 関連基盤など

データ収集



データ収集



データ連携



データ蓄積



2

データアナリスト
によるサポート

分析技術サポート

分析テンプレート

教育サービス

+

データ基盤構築ソリューションについて
もっと詳しく知りたい方へ

お問い合わせ 

データ基盤の詳細や活用事例、
新規導入のご相談などについては、
上記フォームからお気軽に
お問い合わせください。

